

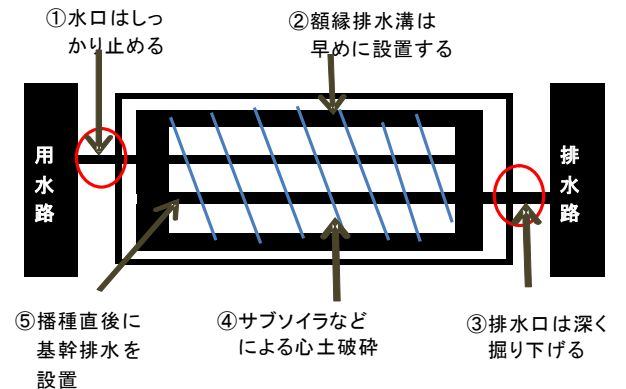
# 大麦特報 第1号

平成28年9月  
なのはな農業協同組合  
富山農林振興センター

28年産大麦は、降雨で播種が遅れ、排水が悪かったほ場で収量が低くなりました。収量を確保するには、出芽・苗立ちをしっかりと確保することが重要です。そのために、まずは**排水対策を徹底**し、天候に左右されない高収量で高品質な大麦の生産を目指しましょう。

## 1 排水対策の徹底 稲を刈ったらすぐに額縁排水溝を設置！

- 稲刈り後速やかに**額縁排水溝**を設置し、**心土破碎**も併せて行うなど**排水対策を徹底**しましょう。
- 額縁排水溝は、その日のうちに確実に排水口へ連結しましょう。
- 砕土率を上げるために、播種前までに十分ほ場を乾かしましょう。



## 2 土づくり・基肥 石灰質資材の散布で pH6.0~6.5 を確保！

表 土づくり資材の目安

資材名	施用量
苦土石灰	100~140 kg/10a
発酵鶏糞ミックス	60 kg/10a

表 基肥の目安

基肥名		施用量
基肥一発	LP大麦48号	45 kg/10a
分施栽培	燐加安15号	40 kg/10a

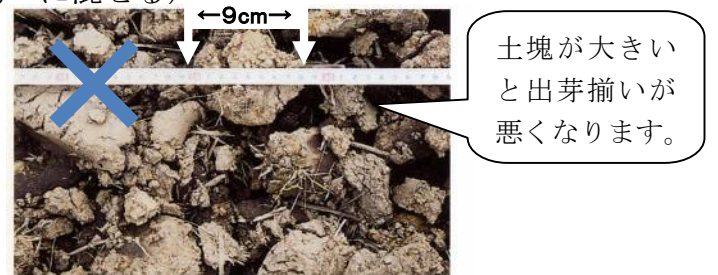
## 3 適正な播種 播種は9月末~10月上旬を中心に。遅くとも10月20日頃までに完了！

### ○種子消毒

- ・雲形病等の発生を防ぐため、種子消毒は必ず行って下さい。  
⇒「ベンレートT水和剤20」を、乾燥種子重量の0.5%湿粉衣  
(乾燥種子10kg当たり200mlの水を加え、薬剤50gを均一に混ぜる)

### ○播種作業

- ・播種は、必ずほ場が乾いた状態で行い、**耕起・播種・作溝の一連の作業は、1日で完了**させましょう。
- ・トラクターの速度を低速にし、できるだけ砕土を細かくしましょう。



### ○播種量の目安

- ・播種時期・播種方法に応じた播種量で目標苗立数を確保しましょう。
- ・ドリル播きでは、深播きにすると出芽揃いが遅れ、分けつの発生率が低下します。**播種の深さは3cm程度に設定**してください。

表 目標苗立数と播種量の目安

播種期	目標苗立数 (本/m <sup>2</sup> )	播種量の目安 (kg/10a)	
		ドリル播き	表面散播
9月25~30日	140	6.0	6.5
<b>10月上旬</b>	<b>150</b>	<b>6.5</b>	<b>7.0</b>
10月中旬	200	8.5	9.0

表 雑草防除 (ドリル播き限定)

除草剤名	使用量	使用時期
トレファノサイド粒剤2.5	4~5 kg/10a	播種後発芽前
トレファノサイド乳剤	200~300ml/10a	播種後発芽前
キックボクサー細粒剤F	3~4 kg/10a	播種後発芽前 (砂土を除く)
ボクサー	400~500ml/10a	播種後~麦2葉期

### 使用上の注意

- ・表面散播したほ場には使用しないでください。
- ・散布直後に多量の降雨が予想される場合は散布を控えましょう。

### ○播種時の排水対策

- ・3~4mに1本の割合で、幅30cm、深さ20cm以上の基幹排水溝を設置しましょう。
- ・また、成畦によってできた溝は、基幹排水溝や額縁排水溝に連結し、雨水が流れるようにしましょう。

**大豆の収穫作業等と競合が予想される場合は、大麦の播種が遅れないよう事前に調整しましょう。**